

平成14年11月5日

少数台数のリコール届出の公表について（平成14年10月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成14年10月は下記のとおり4件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：スズキ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月22日	884	車名：スズキ 型式：GD-DA52V改等 通称名：エブリイ電気自動車	58	平成11年10月5日～ 平成14年4月11日
不具合の部位等	電気自動車の動力伝達装置において、リヤアクスルシャフトとドライブシャフトフランジを結合するスプライン部の強度が不足しているため、当該スプライン部が摩滅するものがあり、駆動力をリヤアクスルシャフトに伝えることができなくなり、走行不能にいたるおそれがある。			

2. 届出者：新キャタピラー三菱株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月22日	885	車名：キャタピラー 型式：B9X 通称名：910G	24	平成13年8月31日～ 平成14年9月25日
不具合の部位等	動力伝達装置において、油圧ポンプ内部のベアリングを保持するためのL型ピンの取付け部の加工が不適切なため、当該ピンの動きが妨げられ、前後進切換時にピンに過大な力が加わって折損することがあり、そのままの状態で使用を続けると、当該ベアリングが脱落し、前後進切換レバーを操作しても変速機が中立にならず、不意に走行してしまうおそれがある。			

3. 届出者：ルノー・ジャポン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月22日	外-982	車名：ルノー 型式：GF-BK7M等 通称名：ルーテシア	36	平成12年7月27日～ 平成12年7月29日
不具合の部位等	助手席用エアバックにおいて、エアバッグユニット固定用のビスの一部が取り付けられていないものがあるため、エアバッグ展開時に正規位置で展開せず、乗員に過度の障害を与えるおそれがある。			

4. 届出者：トヨタ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月24日	886	車名：トヨタ 型式：E-UCF21等 通称名：トヨタ セルシオ等	16	平成9年12月12日～ 平成11年3月5日
不具合の部位等	助手席用エアバッグにおいて、インフレーター（膨張装置）内のチェックバルブピンの取付けが不適切なものがあるため、エアバッグが作動した際、膨張ガスをバッグに供給するための孔が的確に開けられないため、当該エアバッグが十分に展開せず、前面衝突時に乗員に過度の傷害を与えるおそれがある。			

〔参考〕

平成14年10月のリコール届出総件数		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	7件	4件	3件
輸入車	8件	7件	1件
計	15件	11件	4件

（問い合わせ先）

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 森田、広瀬
電話 03-5253-8111（代表）（内線42352・42353）
03-5253-8597（直通）